



Center for Creation of Symbiosis Society with Risk

リスク共生社会創造センター

2015年11月30日 リスク共生社会創造センター 第1回シンポジウム
「リスク共生社会の視点から原子力政策を考える」

リスク共生社会創造センターの紹介

横浜国立大学 リスク共生社会創造センター
センター長 野口 和彦

**安心・安全の科学研究教育センターと共同研究推進センターを
発展的に解消し、全学センターとして発足**

設立目的

**リスク共生社会実現のために、21世紀社会におけるリスク対応
の在り方を研究し、対応策の社会実装に寄与する**

社会実装とは

- **規制・基準・ガイドの具体的な提案**
- **実用化技術・システムの提案・提供**
- **安全・安心を含むリスク教育**
- **その他、社会にリスク共生社会を実現するための活動**

リスク共生社会とは

本学がこれまで目指してきた**安全・安心の実現と共に活力ある社会**のことです

➔ **可能性を追求する社会です**

社会には多様なリスクが存在する

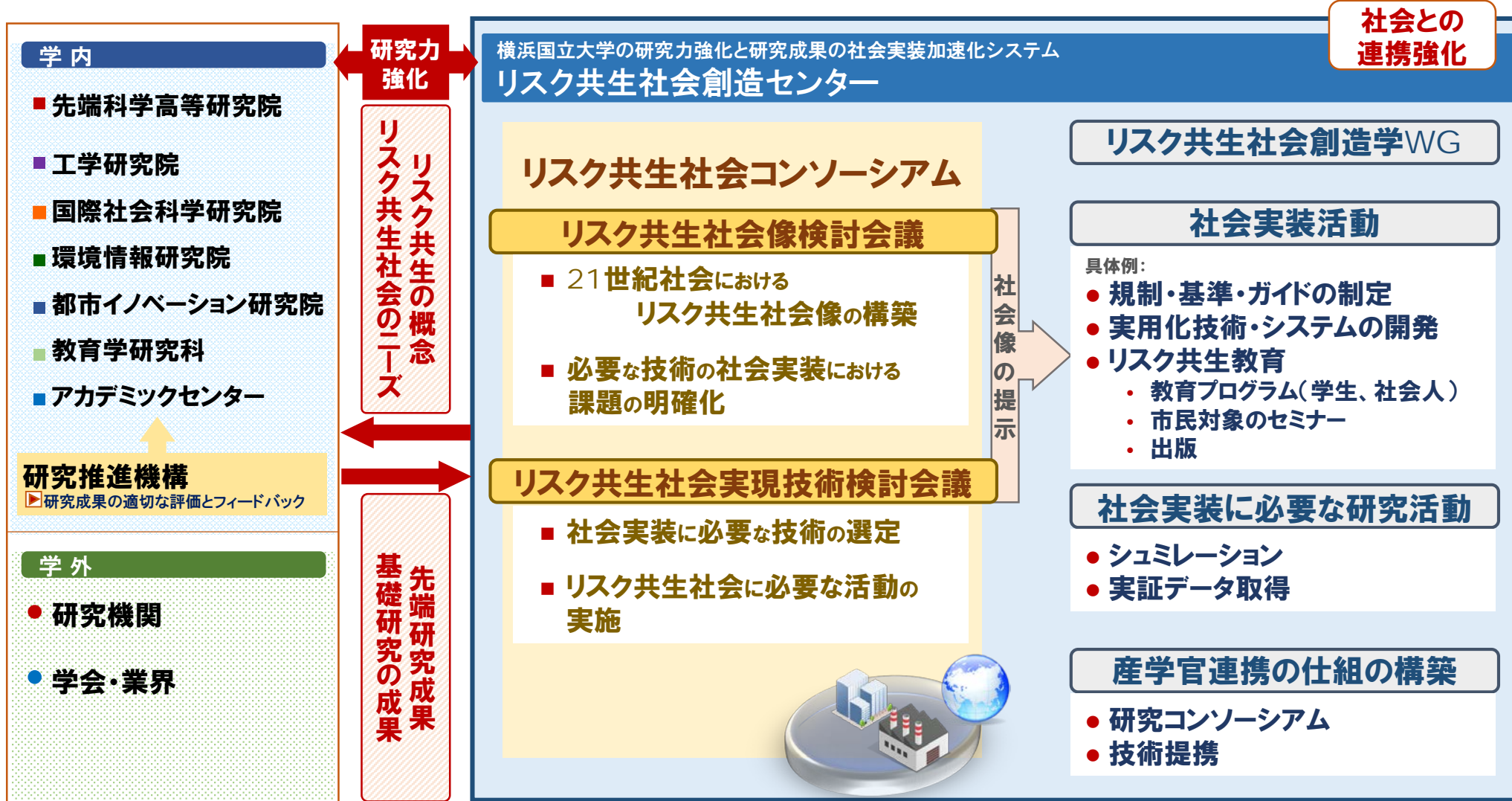
- ➔ ー ある特定のリスクに着目して対策を講じるという政策を続けていると、新たな脅威にさらされる
- ー 社会に存在するいずれかのリスクは受け入れざるを得ない

リスク共生社会創造のためのリスクの選択

- ▶ 選択をするためには、判断材料が必要です
- ▶ **リスク共生社会創造センター**は、その**判断材料と判断のためのツール**を提供します

リスク共生社会創造センターの概要

リスク共生の理念を実現する社会の構築に必要な要素を実装するための研究・活動を行う。
安全・安心の実現とともに活力ある社会の創造を目指す。



- 1 本学の特徴である安全関係の工学研究を中心として、個別のプロジェクトにおいて、研究提案に留まらず具体的な社会が必要とする研究・技術の実装活動**
- 2 研究・技術の実装の為に必要なシミュレーション・データ取得のための研究**
- 3 本学・社会人を対象としたリスク共生教育の実施**
- 4 上記活動を行う為の産官学連携の仕組の構築**
- 5 本センターの活動計画・成果を、広く社会に対し知らせるための活動**

コンソーシアム

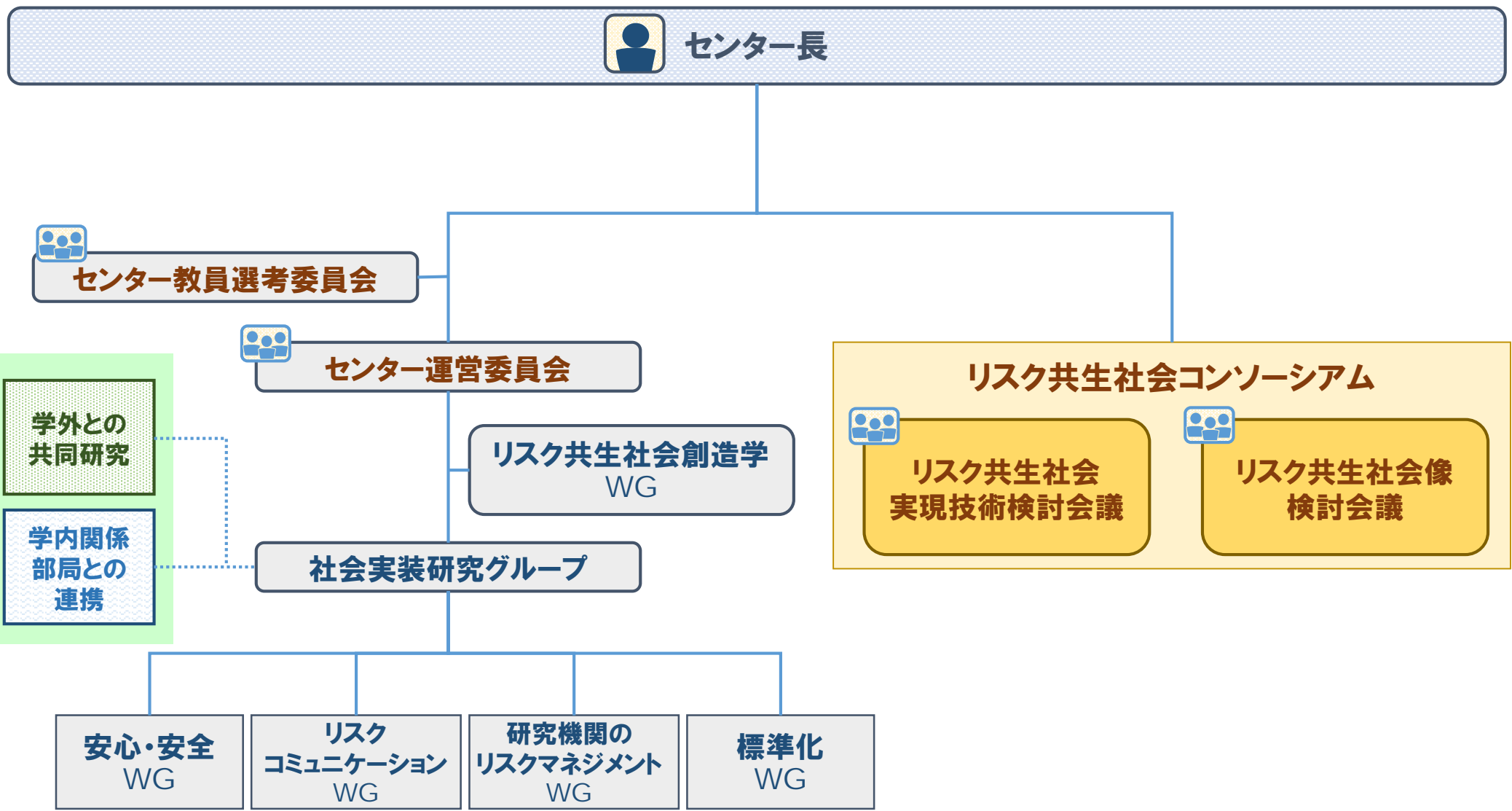
- 学内外の有識者・専門家による
リスク共生社会コンソーシアムを発足
- リスク共生社会像と実現すべき技術を議論

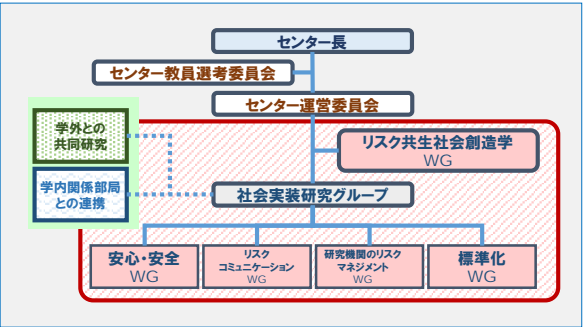


WG

- 本学および他の機関によって実施されている研究・技術開発が社会実装に至らない原因・課題を明らかにして、学内外の機関との連携のもとに対応を検討
- リスク共生社会の実現のための必要な研究・技術の実装
- 21世紀社会におけるリスク対応の在り方を研究し、リスク共生社会創造学の構築を行い、新たな学問領域の創生に寄与する

リスク共生社会創造センター 運営組織





リスク共生社会創造センター 運営組織図

リスク共生社会創造学WG 野口

- ▶ 新規学術体系の構築 社会リスクプラットフォームの構築・提供

社会実装研究グループ

安心・安全WG 三宅

- ▶ 安全関連の社会実装プロジェクトの推進

研究機関のリスクマネジメントWG 澁谷

- ▶ 研究機関特有のリスク抽出とマネジメントガイドラインの提案

リスクコミュニケーションWG 熊崎

- ▶ リスク共生社会のためのリスクコミュニケーションの在り方についての提案

標準化WG（検討中）

- ▶ リスク共生社会における標準化の在り方について検討

本センターが目指すリスク共生社会とは、横浜国立大学が目指してきた安全・安心の実現と共に、活力ある社会の創造をめざし、生態リスクから工学リスクまでの幅広い視点において、「社会としてのリスク共生の在り方」「リスクの最適な調和ある受容のあり方」を模索することにより実現していく。

リスク共生社会創造センター 主な事業および担当組織一覧

リスク共生社会コンソーシアム

- ▶ リスク共生社会実現技術検討会議
- ▶ リスク共生社会像検討会議

リスク共生社会創造学WG

社会実装研究グループ

- ▶ 安心・安全WG
- ▶ リスクコミュニケーションWG
- ▶ 研究機関のリスクマネジメントWG
- ▶ 標準化WG 他

その他

学問

主な内容

- リスク共生社会創造学の構築
- 21世紀社会の基本概念たるリスク共生社会像を明確化
- 実装化における課題の明確化。
- 社会実装に必要な技術の選定

社会実装活動

主な内容

- 知的組織における危機管理の検討
- 対象技術・制度に対する検討
- 研究技術の実装のために必要なシュミレーションデータ取得のための研究
- 個別プロジェクトにおいて具体的な社会が必要とする研究・技術の実装活動

教育

主な内容

- 横浜国立大学関係部局との連携による教育活動
- 社会人に対する教育活動

広報

主な内容

- 出版
- シンポジウム

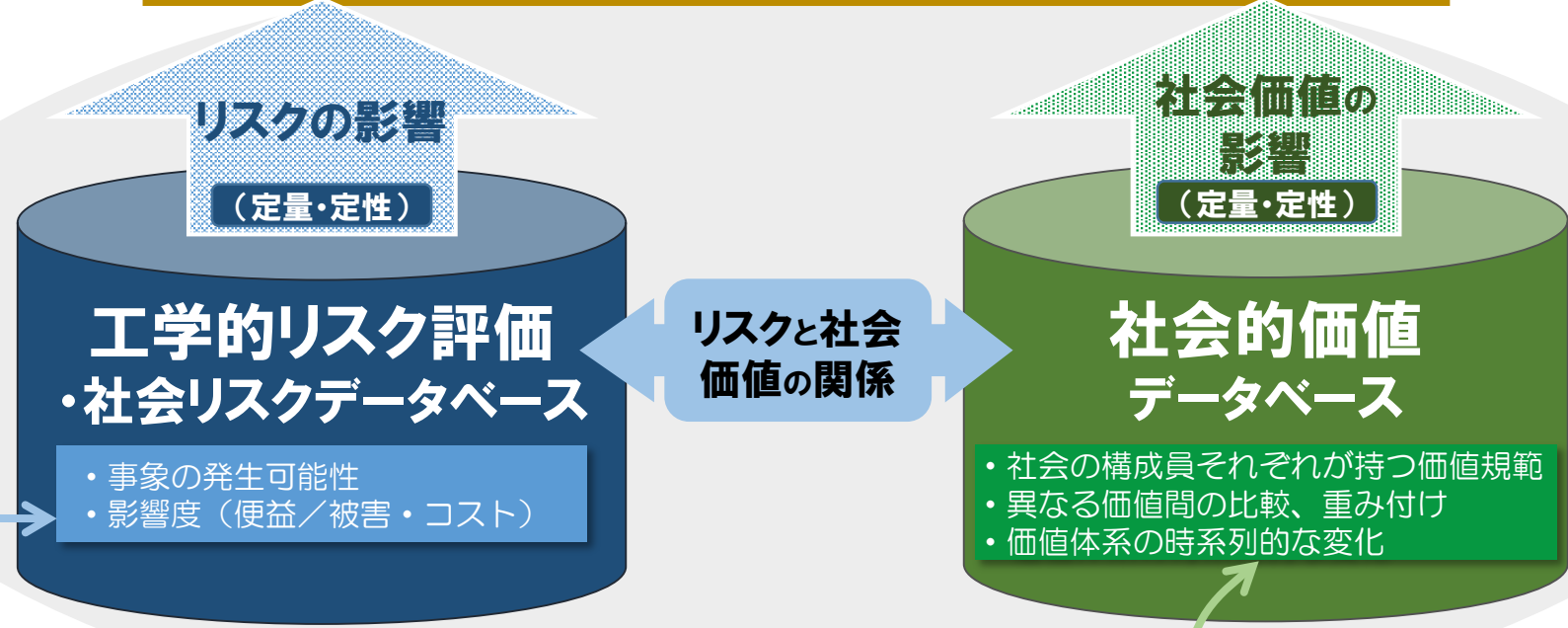
社会リスク評価プラットフォーム構想



- 対象とするテーマ**
- 新たな工学システムの社会実装
 - 新たな技術の導入
 - 新たな政策決定・意思決定等

- 参加・活用**
- 社会リスク評価の実施(有償・無償)
 - データベースのアップデート
 - 分析のあり方の検証

工学システム社会リスク評価システム



知見の追加
(発生確率の評価、被害や便益の定量化手法)

社会リスク評価プラットフォーム
運営: リスク共生社会創造センター

更新・アーカイブ
(事例蓄積、市民意識調査等)